平成２８年度　学校通信

松北だより「笑顔」

第５１号　　平成２８年１２月１６日（金）

本年度の松ヶ江北小学校みんなの合言葉
【あいさつ・そうじ・時間のけじめ】
【やる気・本気・根気】

12月　怒らない、怒らない、… カチンと頭に来たら、「1年生・2年生・3年生・4年生・5年生・6年生」と指折り唱えて、いろんな友達の顔を思い浮かべよう

今月のめあて、ちょっと長過ぎて、はみ出しちゃいました。

人権を考える5分間のラジオ番組

「明日への伝言板」Ⅰ

１２月４日（日）～１０日（土）の「人権週間」にちなんで、先週と今週の給食時間に数回、校内放送で「明日への伝言板」を流しました。

北九州市人権推進センター制作のラジオ番組「明日への伝言板」は、子どもの詩や作文のほか、日常生活の様々な話題から、人権の大切さをみんなで一緒に考えていく番組です。ご存知でしたか、平成２年から続いているロングラン番組なのです。

さて、今号から数回に分け、前述の校内放送で流したもの等幾つかを紹介させていただきます。

「はなちゃんのみそ汁」

今日は、２０１６年１月から全国で公開された映画「はなちゃんのみそ汁」のお話を紹介します。映画の原作者でモデルになっている安武信吾（やすたけ しんご）さん家族は、福岡市に住んでいます。

信吾さんの妻、千恵（ちえ）さんは２５歳で乳がんになった後、信吾さんと結婚して、はなちゃんを産みました。がんがきっかけで食事の大切さに気付いた千恵さんは、自分が長く生きられないことを知り、はなちゃんが４歳になると料理を教え始めます。そして、５歳になったはなちゃんと、ある約束をします。それは「毎朝、自分でみそ汁を作る」こと。当時の思いを千恵さんはブログに次のようにつづっています。「食べることは生きること。健康で生きる力が身に付いていれば、将来どこに行っても、何をしても生きていける。」その５ヶ月後、千恵さんは３３歳の若さで天国へと旅立ちました。

はなちゃんは小学４年生のとき、自らの思いを作文に記しました。

「毎日、みそ汁とご飯を食べているので風邪をひかないし、重い病気にもなりません。ママ、私を産んでくれてありがとう。自分のいのちは、自分で守る。それがママとの約束です。」

今、信吾さん親子には全国から講演の依頼があり、はなちゃんは子どもたちと一緒にみそ汁を作る講座も開催しています。講座は子どもたちの笑顔があふれ、はなちゃんと出会ったことで料理に興味をもつ子も少なくありません。千恵さんが教えてくれた「食の大切さ」を伝えられることは、はなちゃんにとって何よりの喜びです。信吾さんも

「はなは、みそ汁の湯気と匂いの中に千恵を感じ続けているのでしょう。」

と言います。

中学２年生になったはなちゃんは、今も早起きしてみそ汁を作り、お父さんと朝ご飯を食べています。将来の夢は、食に関わる仕事をすること。そのために、勉強も頑張っています。

千恵さんがみそ汁作りに託した思いは、信吾さんとはなちゃんへ確かに受け継がれ、はなちゃんは、お母さんとの約束を守り続けています。「自分のいのちは、自分で守る。」きちんと食べることで体と心が元気になり、いのちがつながっていくのですね。

では、また。

そう言えば、我が家にも、現在２５歳になる双子の長女と長男が３歳か４歳の頃に買った幼児用包丁が２本、今でも台所にありますね。料理から学べることって、確かにたくさんあるように思います。この冬休み、お子様と一緒に料理を・・・なんて、そんな余裕はないかもしれませんが。

平成28年10月17日（月）～平成29年3月5日（日）

本年度、「明日への伝言板」は上記の期間中、放送されています。毎週月曜日～金曜日の18：40～18：45、現在はＫＢＣラジオで。土曜日・日曜日の午後には、再放送もあっているようです。機会がありましたら、是非聴かれてみてください。

＜あとがき＞

私が昔、学校の先生以外でなりたいなぁと思っていたのは、コックさんでした。だからと言って今、特に料理が得意ということはないのですが。